





## Bunka Women's University Muroran J.College Reunion

## TOKYO



## 母校を離れてても…… 会議は熱く

東京支部例会は毎月第4金曜日5時30分から本校の一室を借りて行っております。同じ学校を出たという“同郷の誼”でしょうか、すぐに打ち解けてしまうのです。みなさんも参加してみませんか！

**内田** いよいよ文大祭バザーの作品づくりの時期が来たね。今年も協力者の力を借りながら沢山の作品を室蘭に送りたいね。

**中山** 何点ぐらい出来るかなあ…。ミニ同窓会からの参加だけど、みんなに乗せられてブラウス、スカート、エプロンを作りました。

**綿引** 私も毎回、この集まりに参加するのを楽しみにしています。なかなか毎月は参加できないけど、ここへ来ると故郷へ戻った気分になります。昨年のバザーが盛況だったと聞いて、今年はぜひ室蘭に行って参加したいと思っています。

**鍛治** 去年は全員に協力のお便り出したけど今年は難しいかな？どうやってお願いするかが問題！とりあえず今年は去年協力してくれた同窓生に連絡しましょうか？

## バザー協力のお願い

11/6・7の文大祭の出店作品またはアイディア、カンパ、一緒に参加協力して下さる方、等々求めています。石田和子まで連絡ください。

作品の締め切りは10月末までです。

〒354-0015 埼玉県富士見市東みずほ台2-26-18  
メルベーユ206号  
Tel・Fax 049(254)8750



## 北浦 晃先生個展・囲む会のご案内

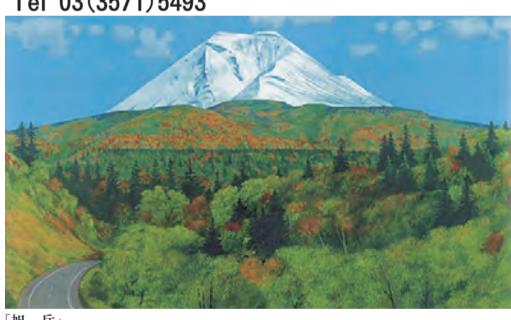
今年3月で退官された北浦晃先生の個展が東京であり、会期中は会場に先生がいらっしゃいます。

●12月20日(月)～25日(土) 11時から19時まで

●文藝春秋画廊

中央区銀座5-5-12 (みゆき通り)

Tel 03(3571)5493



●北浦先生を囲む会 12月21日(火)18時30分から

先生を囲んで食事会を予定しております。暮れの忙しさを一時忘れ、楽しい会にしましょう！多数のご参加をお待ちいたしております。参加希望の方は内田まで。締め切りは11月20日までです。

## 〈連絡先〉

ご意見、ミニ同窓会、北浦先生を囲む会、例会参加のご連絡先は

〒332-0016 埼玉県川口市幸町1-4-19-902  
Tel・Fax 048(256)6896 内田かよ子

## 2 東京支部



## 総会

発足してから1期2年の月日が過ぎようとしています。ありがとうございました。11月3日より2期目に入ります。総会につきましては、諸々の事情から紙上総会とさせていただきます。

## 会計報告

13・14年度

	収入	支出
13年度支部費	100,000	会議費 100,160
14年度支部費	500,000	通信事務費 89,420
お祝い金	130,000	支部発足関連費用 121,393
		雑費 11,565
計(イ)	730,000	計(ロ) 322,538
		収支差引次期繰越金(イーロ) 407,462

15年度

	収入	支出
前年度繰越金	407,462	会議費 91,177
支部費	32,330	通信事務費 5,290
預金利息	6	支部行動費 4,331
		本部行事費(バザー) 184,077
		活動費 36,704
		雑費 4,828
計(イ)	439,798	計(ロ) 326,407
		収支差引次期繰越金(イーロ) 113,391

15年度会計監査の結果、相違ないことを認めます。

平成16年4月1日

同窓会会計監査 綿引 恵子

## 新役員紹介

東京支部長	内田かよ子	(成川・服3)
副支部長	田和子	(釣巻・保2)
"	内石枝	(北嶋・保6)
会書記	佐藤ももか	(大坂・教21)
広報	佐藤百合	(板東・服3)
会計監査	宇佐範玲	(津坂・保3)
	佐藤引中	(三戸部・服4)
	綿山恵久	(小浦方・服2)

## ミニ同窓会

東京支部では、地域ごとに毎年ミニ同窓会を開催しております。昨年度は都内、今年度は埼玉県の方々を対象といたしました。来年度は6月に神奈川県を予定しています。

毎回、昼食会中心で行われ、いつのまにか室蘭短大時代に戻りアットホームな雰囲気に包まれています。対象地域外からの参加も大歓迎です。

一報をお待ちしています。

私は一人のスターとそのファン達から室蘭短大と東京支部のステキな未来を見せてもらつた気がした。近頃、「私はペ・ヨンジョンを『ヨン様』と呼んでいる。私は社会をも動かす！」

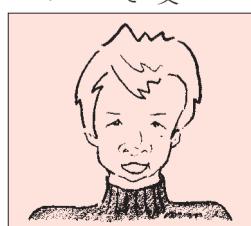
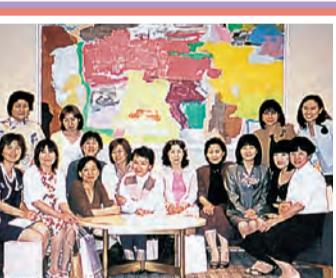


イラスト K



03・6・7 青山のレストランにて

04・6・5 本校資料室見学

4月3日、私は羽田空港入口で大変な光景を目

当りにした。空港に至る沿道におびただしい女たちが詰めかけ、大勢のガードマンがその整理に追われている。今話題の韓国テレビドラマ“冬のソナタ”的主人公ペ・ヨンジョン初来日での騒ぎだった。彼にかける女達の熱い思いが“冬ソナ”効果を巻き起こし、不況日本に恩恵をもたらした。ナマでそのエネルギーに触ることとなつた私はその凄まじさに敬服してしまつた。そして、そんな女達の熱い思いが私のすぐ傍にもあったことを思い出したのだ。離れたところにいても、母校への思いを届けたい！」会員約五百名の東京支部はまさしく、そんな女達の人生にとってかけがえのないもの。東京から埼玉から神奈川から、個々の小さな活動は思い出と共に大きなエネルギーへと結集し海を越えて行く。今、ちょっと元氣のない短大が元気をとり戻す力の一つになれたらこんな嬉しいことはない。母校に寄せる恋心にも似た思い。それはまるで、ペ・ヨンジョンにかけられた女のあの思いのよう。そう、女たちの熱い思いが私のすぐ傍にもあったことを思い出したのだ。離れたところにいても、母校への思いを届けたい！」

恋にも似て…

大阪喜久乃(旧姓秋田)保1

